

※必ず最後のページまで確認してください※

令和7年度1学期(春・夏ターム) 経済学部専門科目履修スケジュール

(※全学教育科目のスケジュールとは異なる場合があります。別途掲示で確認してください。)

◎ 第1次履修登録期間

令和7年4月7日(月)～14日(月) 23:30

◎ 第2次履修登録期間

令和7年4月16日(水)～18日(金) 23:30

※4/17(木) 7:00～17:00の間は履修登録不可。

※第2次履修登録期間に履修登録を追加する場合は、必ず科目担当教員へ事前にその旨連絡し、承諾を受けてから登録すること。

◎ 履修時間割公開日

令和7年4月30日(水)～

◎ 履修登録科目の取消期間(Web)

令和7年4月30日(水)～5月1日(木) 23:30

令和7年6月9日(月)～6月11日(水) 23:30

◎ Web 成績公開日

令和7年8月21日(木)

◎ 専門科目成績申立て期間

令和7年8月21日(木)～25日(月) 17:00

◎ 自由設計科目(専門科目)登録変更期間

令和7年8月21日(木)～25日(月) 17:00

※自由設計科目(専門科目)の変更は当該学期に履修している科目のみ可能

令和7年3月 経済学部教務担当
(メール：ecokyomu@jimu.hokudai.ac.jp)

※必ず最後のページまで確認してください※

他学部等科目の履修について

※他学部等科目の履修を希望する学生は ELMS のお知らせ掲示板や他学部 Web サイト等を確認し、特別な指示がある学部については、予めその履修登録期間・方法を把握すること。

※他学部等科目の履修登録については、Moodle ページの閲覧が可能となるまで一営業日程度は要します（即時反映にはなりません）。

必ず、履修を希望する科目の初回講義日を確認し、余裕をもって履修登録してください。

他学部等科目で 4 月 7 日（月）以前にオンラインで初回講義が行われる科目の履修を希望する学生は、事前に該当学部の授業実施方法等の情報を入手し、余裕をもって科目担当教員へ相談してください。科目担当教員の連絡先が不明な場合は、担当教員の所属する学部のウェブサイトを確認してください。

他学部科目、国際交流科目及び教職科目の履修を希望する場合は、通常「他学部等履修届」を履修登録期間内に提出していただく必要がありますが、今学期に限り「他学部履修届」の提出は不要とします。

ただし、以下の手続きを必ず行ってください。これらの手続きを行わない場合、履修が許可されませんので、ご注意ください。なお、教職科目（教職に関する科目）については本申請の対象外です。

1) 卒業要件単位への算入を希望する場合

学部3年次以降に履修する科目が対象です（国際交流科目については2年次以降の履修分より卒業必要単位として申請可）

また、他学部履修申請は履修登録と同時に申請を行う必要があります。過去に単位取得した科目について、遡って他学部履修申請することはできません。

【申請手順】

- ① 履修登録期間内に余裕をもって指導教員（ゼミの先生）へ事前に履修希望科目についてメール等により相談し、了承を得た科目のみ登録する。
- ②-1) エラーが表示されている科目の「申請希望理由」をクリックし、「他学部・他学科履修」を選択の上、登録する。（メッセージ欄は空欄で構いません。）
- ②-2) 専門横断科目や国際交流科目については、エラーが表示されない場合があります。その場合は履修登録画面上で「申請希望理由」の入力が出来ないため、卒業要件への算入を希望する科目について、履修登録期間内に下記の Google フォームにて以下の内容を 4 月 18 日（金）23:30 までに連絡してください。

Google フォーム：<https://forms.gle/ejMd1VqKrb5mTPKC9>

※他学部等履修には制限があります。詳しくはお手持ちの学生便覧を参照してください。

※エラーの解除は事務にて手動で行なっています。

他学部履修として申請した科目のエラーが解除されるまでに1営業日程度を要します。

もし、他学部履修申請後、土日祝日を除いて2日経過してもなおエラーが解除されていない場合は、教務担当宛にメールでお問い合わせください。

2) 自由科目(卒業要件単位への算入を希望しない)として履修する場合

エラーが表示されている科目の「申請希望理由」をクリックし、「その他」を選択の上、メッセージ欄に「自由科目として履修する。」と入力し、登録する。

※自由科目として履修する科目は、指導教員への事前の相談は不要です。

※必ず最後のページまで確認してください※

演習の履修登録について（3・4年生）

毎学期演習（ゼミ）及び卒業論文の履修登録忘れ、ミスが多数発生しています。演習は必修科目であり、一つでも取り損ねてしまった場合、4年間での卒業ができなくなりますので、履修登録期間に必ず自分の責任において登録してください。

【1学期に登録が必要な必修科目※】

3年生：演習Ⅰ及びⅡ，4年生：演習Ⅴ及びⅥ

※休学歴等がある場合、上記とは異なる場合がありますので、教務担当で確認してください。

注）ELMSの授業グループ上は、3・4年生のグループを統合する都合上、3年生も4年生も「演習Ⅰ」又は「演習Ⅲ」が表示されますが、Web履修登録画面上で正しく登録されていれば問題ありません。

卒業論文の履修登録について（4年生）

4年次学生は、卒業する学期に卒業論文の履修登録をする必要があります。「演習」の履修登録や「卒業論文題目」の提出のみでは卒業できませんので注意してください。

また、過年度に卒業論文の成績評価を受けている留年者も、卒業期に改めて履修登録，卒業論文題目の提出，卒業論文の提出が必要です。万が一，履修登録の際にエラーが出てしまった場合には，履修登録期間内に経済学事務部教務担当までお知らせください。

大学院早期履修生の大学院科目の履修登録について

学部在学中に大学院開講科目の早期履修が認められた学生について，大学院開講科目はWeb履修登録システム上で履修登録が出来ないため，[ELMS\(ek00033\)のMoodleページ](#)から「履修届(早期履修)」(Excel)をダウンロードし，履修登録期間内に経済学事務部教務担当宛メールにて履修届をご提出ください。

履修取消しの方法等については，履修届の末尾に記載していますので，ご確認ください。

エラー科目について

エラーとなっている科目は、「履修不可」の科目です。エラー科目について不明点がある場合は，必ず履修登録期間内に経済学事務部教務担当までお問合せください。いかなる理由でも，履修登録期間以降の問合せ，登録内容の変更等は受け付けられません。

自由設計科目の登録変更について

自由設計科目として登録している科目は，“**卒業・進級要件に入りません。**”卒業・進級単位にした場合は，必ず別紙履修スケジュールに記載の自由設計科目（専門科目）登録変更期間に変更してください。期間以外の変更は一切認めません。

成績申立て(専門科目)について

専門科目の成績評価に関する疑義や申立てがある場合は，必ず別紙履修スケジュールに記載の専門科目成績申立て期間内に手続き方法等について教務担当へお問合せください。

学生便覧の誤植訂正について

既に該当年次の学生へは通知済みの内容ですが，令和2年度入学者用及び令和3年度入学者用学生便覧の以下のページに誤植訂正がありますので，次ページ以降に訂正内容を再掲します。履修登録前に改めてご確認くださいようお願いいたします。

- ・令和2年度入学者用：p22
- ・令和3年度入学者用：p22,p28,p29

※必ず最後のページまで確認してください※

- 令和2年度入学者用、令和3年度入学者用学生便覧 p22 訂正内容
全学教育科目の外国語科目及び外国語演習の記載に誤りがありましたので、朱書きで修正しました。

【その他】

各学科の志望者数の指標・傾向等（前年度以前も含む）の質問には一切答えることができません。

3年次・4年次に何を中心に学びたいかをよく考え、志望する学科を選択するようにしてください。なお、本学部のカリキュラムは、経済学科・経営学科のどちらに分属しても、経済学・経営学両方の授業科目を履修できるように工夫されています。

7.3) 卒業要件

以下の全ての条件を満たすと、教授会の議を経て総長により卒業が認定されます。与えられる学位は「学士（経済学）」又は「学士（経営学）」です。

- a) 本学に4年以上在学（休学や停学の期間を算入しない。各学年に1年以上在学することが必要）すること。
- b) 所定の授業科目を履修した上で、全学教育科目44単位以上及び専門科目102単位以上の単位を修得すること。ただし、全学教育科目・専門科目ともに下記の区分要件を満たすこと。
- c) 卒業時の通算 GPA が2.0以上であること。ただし、2.0に満たない場合には、専門科目の修得単位数が80単位以上（必修科目を除く）であれば条件を満たしたものとします。

なお、授業料が完納されていない場合は卒業認定されませんので、十分に注意してください。

【全学教育科目】

下表の区分要件を満たし、合計44単位以上修得

全 学 教 育 科 目	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）及び総合科目	4単位以上
	主題別科目（5科目から各2単位）	10単位以上
	外国語科目（英語 I～IV の4単位 I 及び II の2単位）	必修 4・2 単位
	外国語科目（英語以外の外国語科目から4単位）	4単位以上
	外国語演習（ 英語技能別演習2単位必修 ，英語演習 2単位以上 ）	必修 2 4 単位以上（うち英語技能別演習2単位を必修とする。）
	外国語演習（英語以外の科目で、「外国語科目において選択した外国語」の演習）	4単位以上
	共通科目（「情報学I」（2単位）を含む4単位） ※「インターンシップA・B」は、卒業単位に含まない	4単位以上
	基礎科目（「人文・社会科学の基礎」から4単位）	4単位以上

※必ず最後のページまで確認してください※

・令和3年度入学者用学生便覧 p28 訂正内容

選択科目の「現代企業論Ⅰ」の行が抜けていましたので、追加しました。

選択科目の「民法」，「商法」，「労働法」，「経済法」の開講期の記載が抜けていましたので、追加しました。

実行教育課程表(学部専門科目)令和3年度入学者

経済学科

区分	授業科目		単位	開講期									
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期		
必修科目	演習Ⅰ	演習	2					2				28単位修得	
	演習Ⅱ	演習	2					2					
	演習Ⅲ	演習	2						2				
	演習Ⅳ	演習	2						2				
	演習Ⅴ	演習	2							2			
	演習Ⅵ	演習	2								2		
	演習Ⅶ	演習	2								2		
	演習Ⅷ	演習	2								2		
	卒業論文	論文	12								12		
選択必修科目 A	経済思想	講義	4			4						16単位以上修得	
	経済史Ⅰ	講義	4				4						
	経済学基礎Ⅰ	講義	4			4							
	経済学基礎Ⅱ	講義	4				4						
	計量経済学Ⅰ	講義	4				4						
選択必修科目 B	マネジメントⅠ	講義	4			4						8単位以上修得	
	マネジメントⅡ	講義	4				4						
	経営科学Ⅰ	講義	4			4							
	会計学Ⅰ	講義	4			4							
	会計学Ⅱ	講義	4				4						
選択科目	歴史と社会	講義	4					4	4	4	4	74単位以上修得	
	経済史Ⅱ	講義	4					4	4	4	4		
	経済学応用Ⅰ	講義	[4]					4	4	4	4		
	経済学応用Ⅱ	講義	[4]					4	4	4	4		
	経済学応用Ⅲ	講義	[4]					4	4	4	4		
	経済学応用Ⅳ	講義	[4]					4	4	4	4		
	計量経済学Ⅱ	講義	4					4	4	4	4		
	統計分析	講義	4					4	4	4	4		
	経済学特殊講義Ⅰ	講義	[4]					4	4	4	4		
	経済学特殊講義Ⅱ	講義	[2]					2	2	2	2		
	企業行動論Ⅰ	講義	4					4	4	4	4		
	企業行動論Ⅱ	講義	4					4	4	4	4		
	現代企業論Ⅰ	講義	4					4	4	4	4		
	現代企業論Ⅱ	講義	4					4	4	4	4		
	経営科学Ⅱ	講義	4					4	4	4	4		
	経営科学Ⅲ	講義	4					4	4	4	4		
	経営学特殊講義Ⅰ	講義	[4]					4	4	4	4		
	経営学特殊講義Ⅱ	講義	[2]					2	2	2	2		
	民法	講義	4					4	4	4	4		(法学部授業)
	商法	講義	4					4	4	4	4		(法学部授業)
労働法	講義	4					4	4	4	4	(法学部授業)		
経済法	講義	4					4	4	4	4	(法学部授業)		
自由科目	人文地理学	講義	2									(文学部授業)	
	外国地誌	講義	2									(文学部授業)	
	自然地理学	講義	2									(文学部授業)	
	哲学概論	講義	2									(文学部授業)	
	倫理学概論	講義	2									(文学部授業)	
	宗教学概論	講義	2									(文学部授業)	
	心理システム科学概論	講義	2									(文学部授業)	

1. 卒業要件＝全学教育科目44単位、専門科目102単位以上修得すること。

※他学部等履修については、12単位まで卒業に必要な単位に含めることができる。

※自由科目欄の各授業科目は、教職免許取得用であり、他学部等履修届が必要。ただし卒業単位には含まない。

なお、他学部等科目の履修の詳細については、第6章 6.1)を参照すること。

※「単位数」の欄の数字に[]のついている授業科目は、授業(講義)題目が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

※3・4年次向け選択科目の開講期については、別途指示する。

※必ず最後のページまで確認してください※

・令和3年度入学者用学生便覧 p29訂正内容

選択科目の「現代企業論Ⅰ」の行が抜けていましたので、追加しました。
 選択科目の「民法」、「商法」、「労働法」、「経済法」の開講期の記載が抜けていましたので、追加しました。
 選択必修科目Aの必要修得単位数が8単位となっていますが、正しくは「16単位」ですので、修正しました。

実行教育課程表(学部専門科目)令和3年度入学者

経営学科

区分	授業科目		単位	開講期										
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期			
必修科目	演習Ⅰ	演習	2					2				28単位修得		
	演習Ⅱ	演習	2					2						
	演習Ⅲ	演習	2						2					
	演習Ⅳ	演習	2						2					
	演習Ⅴ	演習	2							2				
	演習Ⅵ	演習	2							2				
	演習Ⅶ	演習	2								2			
	演習Ⅷ	演習	2								2			
	卒業論文	論文	12								12			
選択必修科目 A	マネジメントⅠ	講義	4			4						16単位以上修得		
	マネジメントⅡ	講義	4			4								
	経営科学Ⅰ	講義	4			4								
	会計学Ⅰ	講義	4			4								
	会計学Ⅱ	講義	4			4								
選択必修科目 B	経済思想	講義	4			4						8単位以上修得		
	経済史Ⅰ	講義	4			4								
	経済学基礎Ⅰ	講義	4			4								
	経済学基礎Ⅱ	講義	4			4								
	計量経済学Ⅰ	講義	4			4								
選択科目	歴史と社会	講義	4					4	4	4	4	74単位以上修得		
	経済史Ⅱ	講義	4					4	4	4	4			
	経済学応用Ⅰ	講義	[4]					4	4	4	4			
	経済学応用Ⅱ	講義	[4]					4	4	4	4			
	経済学応用Ⅲ	講義	[4]					4	4	4	4			
	経済学応用Ⅳ	講義	[4]					4	4	4	4			
	計量経済学Ⅱ	講義	4					4	4	4	4			
	統計分析	講義	4					4	4	4	4			
	経済学特殊講義Ⅰ	講義	[4]					4	4	4	4			
	経済学特殊講義Ⅱ	講義	[2]					2	2	2	2			
	企業行動論Ⅰ	講義	4					4	4	4	4			
	企業行動論Ⅱ	講義	4					4	4	4	4			
	現代企業論Ⅰ	講義	4					4	4	4	4			
	現代企業論Ⅱ	講義	4					4	4	4	4			
	経営科学Ⅱ	講義	4					4	4	4	4			
	経営科学Ⅲ	講義	4					4	4	4	4			
	経営学特殊講義Ⅰ	講義	[4]					4	4	4	4			
	経営学特殊講義Ⅱ	講義	[2]					2	2	2	2			
		民法	講義	4					4	4	4		4	(法学部授業)
		商法	講義	4					4	4	4		4	(法学部授業)
	労働法	講義	4					4	4	4	4	(法学部授業)		
	経済法	講義	4					4	4	4	4	(法学部授業)		
自由科目	人文地理学	講義	2									(文学部授業)		
	外国地誌	講義	2									(文学部授業)		
	自然地理学	講義	2									(文学部授業)		
	哲学概論	講義	2									(文学部授業)		
	倫理学概論	講義	2									(文学部授業)		
	宗教学概論	講義	2									(文学部授業)		
	心理システム科学概論	講義	2									(文学部授業)		

1. 卒業要件＝全学教育科目44単位、専門科目102単位以上修得すること。

※他学部等履修については、12単位まで卒業に必要な単位に含めることができる。

※自由科目欄の各授業科目は、教職免許取得用であり、他学部等履修届が必要。ただし卒業単位には含まない。

なお、他学部等科目の履修の詳細については、第6章 6.1)を参照すること。

※「単位数」の欄の数字に[]のついている授業科目は、授業(講義)題目が異なるものであれば複数個の履修が可能な授業科目である。

※3・4年次向け選択科目の開講期については、別途指示する。